

第1回 味原地区ボッチャ大会 開催報告

日時：平成24年5月26日（土）午前10時～12時30分

場所：味原小学校

主催：味原地区社会福祉協議会、味原地区高齢者食事サービス委員会、味原小学校

協力：天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会第2部会 障がい班

「ボッチャ」は、パラリンピック公式種目で、世代・障がいの有無に関わらず参加できるペタンクとカーリングを併せたような簡単で楽しいスポーツです。天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会第2部会障がい班では、「ボッチャ」を通して、地域の中で障がいのある方たちとのふれあいの輪を広げ、障がいへの理解促進に繋がるよう取り組みを進めています。

今回初めて味原地区でボッチャ大会が行われることになりました。昨年度の区民ボッチャ大会で味原地区高齢者食事サービスのチームが準優勝したことから、「味原地区が主催で大会をしよう！」ということになり、味原地区のボランティアの方々、味原小学校の協力を得て開催されました。

当日は、味原小学校の小学生、高齢者食事サービスの利用者、障害者支援施設知恩寮利用者の計16チームが集まり、大熱戦が繰り広げられました。

ゲームだけでなく、準備体操で肩たたきや手をつないだり、閉会式でみんなが輪になり「手のひらを太陽に」を合唱したりとみんなが交流できるような場にもなりました。

決勝戦では、味原小学校の2チームが勝ち残り、優勝は「U I Tチーム」、準優勝は「あさひチーム」でした。賞品にお米が授与されました。

大会実施後にアンケートをとったところ、回答した小学生17名のうち12名が、「今回のボッチャ大会で初めてお年よりと交流した」と答え、同じく9名が「今回のボッチャ大会で初めて障がい者と交流した」と回答しました。また、アンケートにご協力いただいた高齢者の方とボランティアの方24名のうち、23名が「本日のボッチャ大会が障がいのある方とふれあう機会となった」と答えました。

このように味原地区は地区社協が中心となり、障がいのある方と地域のつながりづくり、また世代間交流が行われています。区社会福祉協議会は今後も地域と協働した取り組みを進め、障がいへの理解促進に取り組んでいきます。

